# HEK293-CXCR4

305420

□要

□明

□責事項：細胞株の表示価格は、学術機関および非営利団体のお客様のみを対象としています。営利団体のお客様の場合、価格は約6,250ユーロとなります。営利団体に所属されている方、またはどちらのカテゴリーに該当するかご不明な方は、
弊社までお問い合わせください。
HEK293-CXCR4細胞株は、CXCR4受容体を中～高レベル（1細胞あたり約7,800分子）で発現するように設計された安定な組換え HEK293細胞株です。この細胞株は、inscreenex社のランディングパッド技術を用いて開発されており、事前に検証済みの特定のゲノム座にCXCR4遺伝子を正確かつ再現性高く組み込むことが保証されています。CXCR4（別名CD184）は、Gタンパク質共役受容体（GPCR）ファミリーに属するケモカイン受容体です。□疫細胞の移動や造血において重要な役割を果たすほか、 HIVが細胞内に侵入する際の共受容体としても機能します。また、特に血液悪性腫瘍において、腫瘍の増殖、転移、血管新生に関与していることが示唆されており、がん研究や治療法開発における重要な標的となっています。
本細胞株におけるCXCR4の発現は、標的特異的抗体を用いたフローサイトメトリーにより確認され、細胞集団全体にわたって一貫性があり信頼性の高い受容体密度が保証された。

| | |
|---|---|
| ティッシュ | 胎児腎臓 |
| 病気 | 形質転換／不死化；非腫瘍形成性（HEK293系） |

用途

CXCR4を標的とした抗体の開発；GPCRの薬理学；SDF-1/CXCL12シグナル伝達に関する研究；HIV共受容体の研究；抗腫瘍・抗転移薬のスクリーニング

分類

| | |
|---|---|
| 生物 | 人間 |
| セックス | 女性 |
| 成長特性 | アドヘレント |
| **GMO**の有無 | GMO-S1 |

**GMO**のステータスに関する詳細

GMO-S1: This engineered HEK293 line contains a CXCR4 expression cassette for GPCR signaling and ligand-binding analyses. This classification applies only within Germany and may differ elsewhere.

| | |
|---|---|
| バイオセーフティレベル | 1 |

特徴

| | |
|---|---|
| 形態学 | 上皮様 |
| 細胞の種類 | 上皮細胞 |
| 倍増時間 | 約24～36時間 |

識別子

引用

HEK293-CXCR4 (Cytion カタログ番号 305420)

| | |
|---|---|
| **NCBI** 納税者番号 | 9606 |
| セロサウルス | CVCL_6G21 |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

## 発現と感受性

発現している受容体

CXCR4 (CD184)

## 取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w: 2.0mM安定グルタミン、w: 2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

| | |
|---|---|
| 培養雰囲気 | 37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。 |

サプリメント

培地に10% FBS ′ 1mM ピルビン酸ナトリウム、10mM HEPES ′ 1% NEAAを添加する。最終濃度が1 mg/mLになるようにGeneticin（G418-Sulfat）を加える。

| | |
|---|---|
| 解離試薬 | トリプシン-EDTA |

継代培養

通常の接着細胞培養の場合：付着細胞から古い培地を吸引し、 PBSで洗浄して残存培地を除去する。 PBSを吸引した後、培養容器のサイズに応じて適切な量の Trypsin/EDTA溶液を加え（例えば、T25フラスコなら1ml ′ T75フラスコなら3ml）、細胞が剥離するまで（5~10分）室温または37℃でインキュベートする。顕微鏡で剥離を観察し、必要に応じて容器を軽くたたいて細胞を離す。いったん剥離したら、完全培地を加えてTrypsin/EDTAを失活させ、細胞を静かに再懸濁し、細胞懸濁液のアリコートを新しい培地の入った新しい培養容器に移す。容器を 37℃ ′ 5%CO2に設定したインキュベーターに入れ、 2~3日ごとに培地を交換する。

| | |
|---|---|
| 分割比率 | 1~5 |
| 播種密度 | 2~4 × $10^4$ 細胞/$cm^2$ |
| 流体の更新 | 週2~3回 |
| 解凍後の回復 | 解凍後、T25フラスコに1：2~1：3の割合で細胞を分割し、凍結から細胞を回復させ、少なくとも24時間接着させる。<br>解凍後の細胞の接着と生存率を最良にするため、凍結回復後の最初の播種にはコラーゲンコートしたフラスコまたはプレートを使用することを推奨します。その後の細胞のルーチン培養には、コラーゲンコーティングは必要ありません。 |

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

## 品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物は毎日目視検査が行われる。

| | |
|---|---|
| 凍結培地 | 凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。 |

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

配送条件

凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

## 寄付者

| | |
|---|---|
| ドナーの年齢 | 胎児 |

## 法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

| | |
|---|---|
| 第三者との契約が適用されます | Yes |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB